

新しい虹

<intro>

A F#m / A F#m / A F#m / E / E

A

A E F#m D E A E
列車は急に行く先を変え 俺の駅には止まらなかった
A E F#m D E A
俺を待ちわびていたやつらが 一瞬で流れて行った
D E F#m A E F#m
次に止まるのは 200マイルも先だろう
D E F#m A E F#m E
次に止まるのは 200マイルも先だろう

B

A E F#m D E
「俺が何をしたというんだ？」 つぶやく男は
A E F#m E
それが何もしなかった 報いであることに気づかないふりを続ける
A E F#m D E
「安物の煙草の匂いが 服に染み付いてとれない」
A E F#m E
新しい風が 吹くのを女は、女は待っている

C

D E D E
丘の向こうの 雨は止んだが
D E G E
かかった虹は 彼女が見るには低すぎた

A

列車は急に行く先を変え 俺の駅には止まらなかった
俺を待ちわびていたやつらが一瞬で流れて行った
次に止まるのは200マイルも先だろう
次に止まるのは200マイルも先だろう

<間奏>

A E / F#m / A E / F#m

A E / F#m / A E / F#m

A F#m / A F#m / A F#m / E / E

B

「ほうや、ごほうびをあげよう、欲しかったんだろう？」
死んだ子が握っていたアメ玉を老婆は笑わずに投げてよこした

若者の神でいつづけられず 逃げ出したやつもいた
光と言い分けを失ったやつらは、やつらは戸惑ったが

C

新しい神をまつりあげるのにかかった時間は
嘆いた時間より短かった

A

列車は急に行く先を変え 俺の駅には止まらなかった
俺を待ちわびていたやつらも 知らない誰かを
俺の名で呼んで連れて帰るだろう
俺の名で呼んで連れて帰るだろう

<後奏>

A E / F#m / A E / F#m

A E / F#m / A E / F#m

A F#m / A F#m / A F#m / ...